

高谷中学校ブロック

第11回 義務教育学校の設置に関する検討委員会

開催日時：令和4年6月25日（土）

午前10時～午前11時

開催場所：信篤公民館 第2会議室

第11回検討委員会の主な内容

- (1) 意識調査の結果について
- (2) 第1回プロジェクト会議について

<本日の次第>

1 委員長挨拶

2 伊藤統括校長挨拶

3 自己紹介（委員及び事務局）

4 報告

(1) 意識調査の結果について

○児童生徒、保護者および教職員に対して実施した、意識調査の結果について

(2) 第1回プロジェクト会議について

○3校の教職員の代表で構成する「プロジェクト会議」で検討した内容について

5 その他

<次回検討委員会の開催予定>

○日時：令和4年10月上旬頃

○場所：信篤公民館

3 報告

(1) 意識調査の結果について (参考資料：別冊資料1～5)

○調査目的 信篤三つ葉学園の義務教育9年間を見通した教育活動の充実および各小中学校間の連携の推進に生かすため。

○対象 信篤三つ葉学園の児童生徒(小学3年生から中学3年生)、保護者および教職員

○実施期間 令和4年5月13日(金)から5月19日(木)(7日間)

○回答数

	高谷中学校	信篤小学校	二俣小学校	合計
児童生徒	358	316	134	808
保護者	156	299	77	532
教職員	27	27	19	73
合計	541	642	230	1,413

○調査内容(概要)

「高谷中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画」に基づき、以下の内容について意識調査を行いました。

(本調査は、今後も継続的に実施し、意識の変化を分析していきます。)

<児童生徒の意識調査の要旨>

- ・現在の学校生活について
- ・信篤三つ葉学園への誇りについて
- ・教育課程の効果について
- ・教科担任制の効果について
- ・自己肯定感や思いやりの心の育成について
- ・問題行動の防止について
- ・中学校へ進学する際に係る不安(中一ギャップ)について ※小学生のみ実施
- ・小中の教職員および児童生徒の交流について
- ・新しい教科で学習したい内容について

<教職員の意識調査の要旨>

- ・小中一貫教育の子どもへの教育効果について
- ・信篤三つ葉学園への誇りについて
- ・授業改善について
- ・児童生徒への理解の深まりについて
- ・協働体制の構築について
- ・校務の効率化や質的な向上について

- ・教育課程の効果
- ・教科担任制の効果
- ・自己肯定感や思いやりの心の育成
- ・問題行動の防止

※児童生徒と同じ内容についても聞いています。

<保護者の意識調査の要旨>

- ・小中一貫教育の子どもへの効果について
- ・中一ギャップの緩和について
- ・自己肯定感や思いやりの心の向上について
- ・問題行動の防止について
- ・学力や学習意欲の向上について
- ・部活動や生徒会活動の活性化について
- ・小中の教職員の連携による児童生徒の理解の向上について
- ・小中の教職員の連携によって、教職員の負担軽減について
- ・小中一貫教育による、地域との連携強化について

※詳しい分析結果については、増井委員長より報告

(2) 第1回プロジェクト会議で検討した内容について

(参考資料：別紙資料6「プロジェクト会議だより①」)

<「プロジェクト会議」とは>

○構成メンバー

- ・3校の教職員の代表（校長、教頭、教務主任等）

○目的

- ・信篤三つ葉学園で実施する小中一貫教育等の取り組みに関する協議

※参加メンバーは、協議内容を他の教職員に周知し、また教職員から出された意見を協議に反映

○日時 令和4年5月9日（月）午前10時～午前11時

○場所 市川市立高谷中学校 PTA 会議室

○参加者 ・高谷中学校、信篤小学校、二俣小学校の各校長

・高谷中学校の教頭、教務主任

・市川市教育委員会（指導課、学校環境調整課）の担当者

○検討内容（概要）

① 信篤三つ葉学園のグランドデザイン（全体構想）について

塩浜学園や東国分爽風学園など、他校の事例を参考に、グランドデザイン（全体構想）の **柱となるキーワード**の検討を行いました。

<検討により出されたキーワード>

- ・「ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境や学習規律の統一」
- ・「学校地域交流連携活動」
- ・「中一ギャップの解消」
- ・「体力向上」
- ・「心の教育」など

② 義務教育9年間を貫く教育課程について

他校の事例を参考に、義務教育9年間を貫く教育課程（新しい教科・領域）において **テーマとする内容**の検討を行いました。

<検討により出されたテーマ>

- ・地域の特徴である、「幼小中高および特別支援学校と連携・交流する活動」
- ・「地域貢献、地域の方々との関わり」
- ・「地域の施設や自然環境を活用した教育」
- ・学園目標から、「心の教育」 など

①と②に、今回の意識調査の分析結果を含めて、次回のプロジェクト会議（6月27日開催予定）以降、更に検討を進めます。